

令和4年12月22日からの暴風雪等に係る
北海道災害対策本部員会議 概要

北海道総務部危機対策局危機対策課

- ・日時 令和4年(2022年)12月24日(土) 11:00～11:45
- ・場所 北海道庁3階テレビ会議室
※ 全(総合)振興局及び東京事務所とテレビ会議を接続

1 開会(副本部長:浦本副知事)

オホーツク管内の大規模停電を受け、昨日22時に連絡本部から災害対策本部に体制を引き上げたところだが、これより、令和4年12月22日からの暴風雪等に係る北海道災害対策本部員会議を開催する。

2 状況報告

(1) 気象状況(札幌管区气象台:気象防災情報調整官)

<気象状況について、資料に沿って説明>

(2) これまでの対応状況等(危機管理監)

<対応状況等について、資料に沿って説明>

(3) 停電状況等(北海道電力 副社長)

<停電状況等について、資料に沿って説明>

(4) 連絡本部各班からの報告

ア 保健福祉部(保健福祉部長)

- ・医療については、昨日、「広域災害救急医療情報システム(EMIS)」を通常モードから警戒モードに切り替え、医療機関の状況を確認しているほか、基幹災害拠点病院及び近隣の災害拠点病院と連携し、医療支援体制を構築している。
- ・また、在宅での酸素濃縮器利用者については、民間事業者団体と連携の上、常時使用している機器の電源確保について状況把握しており、停電中も酸素を使用できるよう、適宜対応することとしている。
- ・次に、福祉施設のうち、すべての入所施設について、安全を確保し、運営していることを確認済みである。また、通所施設については、現在、振興局を通じて運営状況等を確認中。さらに医療・福祉施設とも、停電が長引いた場合、自家発電装置等の燃料の確保が課題となることから、引き続き、状況確認に努め、必要な対応を行う。

イ 経済部(経済部長)

- ・重要施設に対する燃料供給体制について、北海道石油業共同組合連合会と協定を締

結しており、災害発生時に、公共施設や避難所等の重要施設において、自家発電機や暖房等の燃料の自力調達が困難になり、道に燃料供給の依頼があった場合には、各地方の組合を通じて、供給可能な事業者を調整の上、優先給油を実施することとしている。

- ・現在も停電が発生している雄武町において、優先給油の対象となる重要施設として行政庁舎等の施設がある。
- ・これまでのところ振興局に対して、重要施設への給油要請はないが、要請があった場合には速やかに対応するよう北石連との間で準備をしているところ。

ウ 総合政策部（交通企画監）

- ・交通機関の情報について、報告する。
- ・J Rの運行状況については、道北、道東方面を中心に本日8時00分現在で、特急15本、快速・普通列車63本の計78本が運休している状況。
- ・特に宗谷線、石北線については、のちほどJ R北海道から報告があるが、現時点で運行再開の目処は立っていない状況。
- ・航空機の状況については、道内空港では新千歳空港と紋別空港で計6便が欠航となっている状況。いずれも道内便。紋別空港では停電のため、本日10時30分に空港閉鎖になっている。明日以降の対応については、別途、航空会社で調整することとなっている。
- ・なお、札幌－新千歳空港間については、J R・空港連絡バスともに通常運行となっている。
- ・バスの運行状況については、オホーツク方面を中心に都市間高速バスは引き続き運休しているほか、路線バスについて紋別市内で全路線が終日運休。稚内市や北見市では一部を除き、ほぼ通常運行となっている。

エ 農政部（農政部長）

<農業関係の状況について、資料に沿って説明>

オ 建設部（建設部長）

- ・道道の通行規制状況について、本日9時00分現在で、14路線16区間を通行止めとしている。道東の道道8路線において、小規模なスタックや立ち往生、倒木等の事案が発生したが、現在はすべて解消している。
- ・海岸については、波浪、高潮警報が解除となった地域よりパトロールを実施しており、現在のところ被害は確認されていない。
- ・道道の通行止め路線については、引き続き除雪作業を行うとともに、通行の安全が確保できたところから、随時解除していくところ。

カ オホーツク総合振興局（オホーツク総合振興局長）

- ・気象については、気象台からの説明のとおり。
- ・紋別市、興部町、雄武町、湧別町等に電力を供給している送電線の鉄塔の倒壊により、昨日の15時30分頃から広域にわたり大規模停電が発生している。
- ・昨晚の段階において、紋別市で13,350戸、湧別町で5,060戸、興部町で

1, 510戸、雄武町で2, 960戸の停電が発生したが、昨晚からの懸命な作業により、10時45分現在は、紋別市で300戸、湧別町で200戸、興部町で410戸、雄武町で1, 270戸の停電の状況まで復旧している。北海道電力におかれては、引き続き、完全復旧に向けて、ご尽力いただきたい。

- ・振興局では、昨晚の段階で関係する市町村に対し、避難所の開設・対応状況の確認、自衛隊災害派遣要請の有無確認、その他の支援物資に関する支援を行っている。
- ・紋別市で10箇所避難所を開設していたが、5箇所に135名の方が、湧別町は4箇所のうち2箇所に4名の方が、興部町においては2箇所に44名の方が、雄武町においては5箇所に41名の方が、現在オホーツク管内で延べ224名の方が避難している。
- ・紋別市から、避難所において暖をとるためのストーブが不足していることから、災害派遣の要請があり、昨日22時36分に自衛隊災害派遣要請をしたところ。要請後、ただちに遠軽駐屯地から対応していただき避難者が温かく過ごせたので、感謝している。
- ・農業団体によると、酪農家の搾乳への影響はほとんど受けていない。また、生乳の酪農家から牛乳工場への輸送については問題ないが、牛乳工場が停電被害を受けているため、ほかの工場へ振替を行って対応している。
- ・鉄塔の倒壊については、本日2時に北海道電力から道管理河川の敷地内に仮鉄塔設置の相談があり、ただちに設置に対して審査を行い了承する旨、回答した。
- ・紋別空港等の航空関係については、総合政策部からの説明のとおり。
- ・通信環境についても、携帯電話等の通信障害の報告があるため、通信関係の復旧に向けた資材や人材の配置などの対応をお願いしたい。
- ・振興局としては、引き続き、市町村や関係機関と連携し、必要な対策に取り組んでまいりたい。

キ 宗谷総合振興局（宗谷総合振興局長）

<宗谷管内の状況について、資料に沿って説明>

(4) 防災関係機関からの報告

ア 陸上自衛隊（陸上自衛隊北部方面総監部）

<陸上自衛隊の活動状況について、資料に沿って説明>

イ 北海道開発局（災害対策管理官）

- ・国道の6路線を通行止めとしている。昼夜問わず除雪作業をしている。
- ・雪崩が発生している状況もあるため、天候状況や雪崩の危険性も踏まえ、安全を確認しながら作業を進めていく。

ウ JR北海道（常務取締役）

- ・除雪が終わった区間から順次、運行再開している。石勝線、根室線の帯広釧路方面、札幌から釧路までは運行を再開している。また、釧網線の網走－釧路間も運行を再開、北見－網走間も運行を再開している。
- ・釧網線においては、運転再開後、倒木が線路を塞ぎ、再び運休している。

- ・石北線の上川と北見、宗谷線の名寄と稚内については、現在も運行の見通しが立っていない。石北線では白滝で積雪が100cmあり、宗谷線は音威子府で170cmとなり、いずれも湿った重たい雪で時間を要しており、手作業も続いている。
- ・除雪については、駅と駅の間の本線線路の除雪に加えて、駅構内の除雪を並行して行っている。
- ・少なくとも、名寄―稚内については27日までかかる予定。26日までは除雪がかかる見込みであり、設備の安全確認等を含めて引き続き、作業を行っていく。

エ 北海道経済産業局（北海道経済産業局長）

- ・昨夜、大規模停電を受けてオホーツク方面にリエゾンを派遣しており、紋別市、興部町の役所や避難所、病院等で状況把握に努めている。
- ・引き続き、対応できるように状況を把握し、関係各部との連携を図り対応にあたっていくところ。

3 本部長指示（本部長：鈴木知事）

- ・ただ今、22日から続いた暴風雪や大雪に関し、札幌管区气象台や北海道電力を始め、関係機関や各部局から、それぞれの対応状況などについてご説明いただいたところ。
- ・今回の暴風雪や大雪は、道内の広い範囲で道路の通行止めや、交通機関の運休等が発生しているほか、紋別市やその周辺地域では、送電線を支持する鉄塔の倒壊により、昨日15:30頃から、大規模な停電が発生するなど、道民の皆様の生活に大きな影響を与える事態となっている。
- ・地元自治体では、避難所を開設し、住民の皆様の安全確保に取り組んでいるが、厳寒期の停電は、被災された方々の生命の危機にも直結するおそれがある。
- ・こうした事態の発生を受け、道では、昨日夜、災害対策連絡本部を災害対策本部に引き上げるとともに、紋別市など2市8町に災害救助法を適用し、さらには、紋別市の避難所で不足していたストーブや発電機を迅速に確保するため、自衛隊に災害派遣を要請した。
- ・各部局・関係振興局においては、人命最優先の考えのもと、地元市町村の状況やニーズに関する情報収集を強化し、避難所の体制も整ってきたので、住民の皆様への避難に関する広報の徹底はもとより、応急対策に全力を挙げて取り組むことを指示する。
- ・北海道電力におかれては、今も懸命に復旧作業にあたっているが、作業に必要な人員の確保を含め、引き続き、早期の全面復旧に向け、全力で対応をお願いします。
- ・また、JR北海道からは、宗谷線、石北線の運転再開の見込みが立っていないとの報告をいただいたが、早期の運転再開に向け、なお一層の取組をお願いします。
- ・陸上自衛隊におかれては、災害派遣要請に迅速に対応いただき、感謝申し上げます。
- ・引き続き、陸上自衛隊を始め、本日お集まりの防災関係機関の皆様におかれても、より緊密な連携・協力をお願いします。
- ・なお、気象警報は徐々に解除されてきてはいるものの、道内は発達した低気圧の影響が続き、大雪への警戒が必要であるので、道民の皆様におかれても、引き続き、最新の気象情報や道路交通情報に注意いただくとともに、除雪作業中の事故や屋根からの落雪などに十分に警戒し、身の安全を確保する行動をとっていただくようお願いする。

4 閉会（副本部長：浦本副知事）

各本部員・防災関係機関の皆様におかれては、ただいまの副本部長の指示について、必要な対応をお願いします。

以上をもって、北海道災害対策本部員会議を終了する。